



Ⅳ. 健康食品管理士の資格者として

……健康食品管理士の資格が就職に役立ちました……

林 孝典（アピ株式会社）

小さい頃に、「コンニャクはお腹をキレイにするから食べなさい」と、母によく言われました。お酢も、梅干も、ひじきも、納豆も…すべての食べ物に関して何か効果があるような印象を受けました。母は栄養成分や体内での代謝について知っているわけではなく、その食品に関する「いわれ」を基に好き嫌いをなく食事をするように教育を行っていました。

近年の健康食品ブームにおいてその一部には、医薬品顔負けであるような広告のされているものが存在します。母の教育もあり、私は健康を保つには、バランスよく規則正しい食生活が最も効果的な健康食なのではないかと思っていました。しかし、その一方で、もし体調に何らかの異常がある場合にどんなものを多く食べたり飲んだりしたら良いかについて、全く知らないことに気づきました。さらに、健康食品の効果に関しての正しい知識や正しい評価ができることは非常に大切であると感じるようになりました。

大学では臨床検査技師になる為に勉強し、その知識をもっと深める為に大学院へと進学しました。大学院生活の中で健康食品管理士について知り、自分の「健康食品の効果に関しての正しい知識や正しい評価ができることは非常に大切である」という知識欲を満たしてくれるような気がして、健康食品管理士を受験することにしました。そして、健康食品について学ぶ中で「健康食品って面白い!!」と思い、それまで臨床検査技師として病院で働くことだけを考えていましたが、本当に効果があって安心して利用できる物を自分でも作ってみたいと思い、健康食品の会社の入社試験を受けてみることにしました。

面接試験では当然のように自己PRをするわけですが、私はまず「健康食品には信頼できる評価のされた商品であることが大切であるから、検査医学と基礎医学を学んだ臨床検査技師は非常に役に立ち、さらに健康食品管理士という資格を取得し、健康食品に関しても他の受験者に比べて非常に知識が豊富である」と訴えました。この作戦は的中で、面接の中では臨床検査技師や健康食品管理士についての質問を非常にたくさん受けました。会社の人は医療知識を有する者がさらに健康食品に関して研究をすることは新しい商品開発に相当有力な武器になると、私が予想していた以上の反応でした。

健康食品の会社に自分を売り込む為には、臨床検査技師は非常に知名度が低く、残念ながら自分が大学で学んだことや臨床検査技師について説明するのは非常に苦労します。しかし、健康食品管理士という資格を取得するにあたり、感じたことや自分が必要に思ったことを通して訴えるのであれば、自分の売り込みたい部分に的を絞ることが出来ます。また社会では、我々臨床検査技師のように基礎医学や検査医学の幅広い教育を受けた人間は非常に必要とされていると感じます。この幅広い知識に、健康食品管理士のような特色をつけることで、病院だけではなく様々な分野に活動場所を広げることができると思います。

こんな観点から私は健康食品管理士の資格を取って非常によかったと思うと同時に今後もっと勉強をしてゆきたいと考えております。しかし、中々この分野の情報はまだどのように得たらよいか分からないので健康食品管理士認定協会のご指導をお願いいたします。